

つるがしま里山サポートクラブ 活動報告書（令和3年度）2021

活動日時	月	日	曜日	開始	終了	場 所	会員参加数
	5	5	水	8：00	12：00	五味ヶ谷市民の森	18名
活動名称	家族で楽しむタケノコ掘り体験会 その2					報告者：吉井 優	

1、活動目的

竹林整備の一環として、タケノコの駆除活動（適正本数管理）を行っています。これをイベントに変えたのが「家族で楽しむタケノコ掘り体験会」です。子どもたちの笑顔があふれ親御さんからも好評をえています。

2、活動内容ほか

5月に入っても思うように筍が増えず、加えて毎日筍泥棒に盗られており、40本確保は絶望的と判断し、5月4日に全参加受付者に、筍不足により、全員分の筍が無いことを伝えました。結果29組子供50人大人43人の参加となり、全員が掘れることになりました。筍掘りできない不満に備えて、竹細工とハンモックを準備しましたが、好評でした。

3、評価：

筍不足の連絡を聞き、掘れないならキャンセルという方が10組出たおかげで、筍が掘れなくとも自然で遊べるなら参加希望の方が全員掘ることができました。ほとんど奇跡のような展開ですが、普段の行いが報われたとしておきましょう。

4、課題

今年は、不作の年であり、盗難被害により、筍本数確保に苦労した。それより、筍を掘ることもせず、筍を蹴倒して持ち帰るバチ当たりな盗掘者に怒りをおぼえた。太田ヶ谷の森も盗難被害が多いとのこともあり、広報つるがしまで持ち去り禁止を呼び掛けて欲しい。

<里山参加会員> 吉井、佐野英、小澤邦、柳川、石川、橋本、室、小澤弘、
大森、牛島、松井、小嶋、杉山、風祭、柏木、上見、木部、田中

<活動写真>



今回のたけのこ掘体験会の感想

当日、十分な反省会ができませんでしたが、私は、今回のタケノコ掘りで、沢山の教訓を得ました。大切な事と思いましたので、すこし、長くなってしまいましたが、読んでみてください。

今年は、タケノコが少なかったことにより、各グループ 1 本確保することが一杯でした。1 グループ 1 本掘れない場合、公平にするため、掘った者を集めて、じゃんけんなどで、順番で持って行くという考え方でしたが、今回はかろうじて、全員 1 本が確保されました。

ここで学んだことは、一カ所に集めた時に、皆さんが自分の掘ったタケノコを確認するように、その近くでも見つけていたことでした。何人かに確認しましたが、皆さん自分の掘ったタケノコの場所を確認していました。

今回は、なんとか 1 グループ 1 本は可能でしたので、各自が掘ったタケノコを最初にとってもらい、小さなタケノコの方には、残りの竹の子をじゃんけんの順番で、持って行くことにしました。

このとき、じゃんけんで、最初に勝った子供が、最も小さなタケノコを手に入れました。自分で掘ったタケノコだそうです。このことから、皆さんは、自分で掘ったタケノコに対する思いが強く、タケノコの大小ではない思いがあることを感じました。

自然体験の大切な経験です。今後の教訓となりました。

大きさの差より、自分が掘ったタケノコが大切なのです。

このような体験の思いを大切にしていきくことが、自然を大切に思いのの始まりかとも思います。次年度からは、この参加者の心の思いを大切にしていきたいと思います。

皆さんも、色々感じたことが多いと思いますが、是非感想をお聞かせ願ひ、次年度の活動に役立てていきたいと思っています。

宜しくご意見ください。